



苗場山山頂・高層湿原

清友

No. 83

2016年7月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

参院選で与党の過半数を阻止し 危険な安倍政治を終らせよう

10日投票の参議院選挙は、日本の将来を大きく左右する重大な選挙です。

安倍の手法は、ヒトラーと同じです。ヒトラーは経済と家庭生活の復興を訴えて選挙で政権をとり、自民党の「緊急事態法案」と同じような法律により、わずか2年で「ナチス体制」を完成させました。安倍政権は、経済成長（アベノミクス）を訴えて、「特定機

密保護法」、「安全法制関連法」
|| 「戦争法」を強行しました。
メディア戦略も、まさに「ナチスに学んだ」やり口です。

選挙の課題は、第一に、子や孫に戦争を体験させないため、「戦争法」廃止・平和憲法擁護、沖縄県民の意思を無視した辺野古基地建設に反対すること。二つ目が、原発再稼働反対。そして、「暮らし」と「社会保障充実」が、三つ目です。



戦争できる国NO!



辺野古新基地NO!



原発再稼働NO!

アベノミクスで貧困と格差が拡大し、非正規労働者が増大しています。金融操作だけの経済政策は、財政破たんを招来するでしょう。私たちの年金が一方的に切下げられ、介護保険も利用者には支援措置の切捨て、事業者には処置費の切下げが行われています。自公と補完勢力に三分の二を渡さないため、参院選挙は野党に一票をお願いします。

都知事選も重要だ

舛添都知事は、介護と保育の充実を公約しながら何もせず、毎週的美術館視察、週末

毎の湯河原、19回もの海外視察を繰返し、政治資金を懐に、「セコイ」を英語に残して辞めてしまいました。
都知事選の情勢はまだ不透明ですが、少なくとも反自公の立場を鮮明にする候補を応援しましょう。(丹野)

第1回 幹事会

10月9日 学習交流会
10月6日 フィールド
11月6日 (上野公園)
8日 親睦旅行

6月23日に定期総会後初めての幹事会と専門部会を開催し、①上部団体役員、②組織共闘部会準備会設置、③専門部配置、④参議院選と都知事選の対応、⑤学習交流会、⑥新春の集い日程、⑦秋の旅行企画、⑧秋のフィールドワーク企画などを検討しました。

上部団体役員

- 自治体退職者会東京都本部 (常任幹事) 庄司会長
- (幹事) 柳副会長
- 東京都庁退職者連合会 (幹事) 庄司会長
- (幹事) 戸張副会長

組織共闘部会設置

各種行動の動員引率業務増大に対応するため、「組織共闘部会」の準備会を設置します。部員は戸枝、岡沢、押田各幹事です。

参院選・都知事選

7月10日に行われる参院選は、比例区は「えさきたかし」、選挙区は東京清掃推薦候補の必勝を期します。

9月～11月の行事

別記のとおりです。カレンダーに記入してください。

学習交流会

- 開催日 9月9日(金) 13時30分開会
- 会場 清掃会館地下ホール
- テーマ 参議院選挙後の政治情勢と平和運動の課題(仮題)
講師：藤本泰成平和フォーラム共同代表(予定)
※学習会終了後、懇親会

秋のフィールドワーク

- テーマ 江戸文化と戊辰戦争戦跡
- 開催日 10月6日(木) 10時
上野公園集合(詳細は後日)
- 企画 ボランティアガイドの案内で、上野公園の江戸文化や戊辰戦争・彰義隊の名残りを訪ねる。
- 会費 500円程度(予定)

秋の親睦旅行

- ◎テーマ 東洋のグランドキャニオン「大源太キャニオン」と当間高原の旅
- ◎旅行日 11月6日(日)～8日(火)
- ◎宿泊 リゾートホテルベルナティオ
- ◎主な観光先
1日目：大源太キャニオン、三国街道塩沢宿
2日目：長岡市もみじ園、西福寺開山堂
3日目：日本三秘境「秋山郷」
- ◎会費 45,000円程度(検討中)



「谷根千」を訪ねて

「夕焼けだんだん」にて谷中銀座を背景に

歩こう会6月のウォーキングは、「谷根千」＝谷中・根津・千駄木散策。6月8日、日暮里駅に集合し、夕焼けだんだん、谷中銀座をはじめ、下町情緒あふれる街並みと、岡倉天心記念公園、森鷗外観潮楼跡など明治初期の歴史を見聞しながら、根津神社、寛永寺・徳川將軍霊廟まで足を伸ばし、鶯谷で解散。かなり長いウォーキングになりましたが、食歩歩きも楽しめ、参加者から大好評でした。ただし、天保元年(1830年)創業の看板に引かれて入った蕎麦店が残念な味だったことは、唯一失敗でした。

昭和運輸不当解雇撤回闘争(4)
東京23区清掃事業労供労働者約3千人の
年金・健康・雇用保険適用で厚生省要請

昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘会議を構成する自治労都本部、東京清掃、公共清掃労組で、厚生労働省との意見交換を6月15日に参議院会館内で行い、厚生省側から年金局、職業安定局、労働基準局の担当11名が参加しました。



相原議員を囲み、自治労都本部・東京清掃・公共清掃労組の厚生省要請団

自治労組織内相原参議院議員から「23区清掃事業労供労働者の厚生年金や雇用保険適用について、労働者保護の観点から検討頂きたい。」と、意見交換の趣旨を述べ、自治労都本部佐藤副委員長が「朝日新聞の記事でも指摘された23区清掃事業労供労働者約3千人の継続運転手及び作業員の厚生年金、健康保険、雇用保険(3保)の適用について意見を伺う。」と要請しました。

厚労省は「厚生年金は1カ月を超えて引き続き使用されれば被保険者」「日雇労働被保険者は連続する2カ月に18日以上同一事業主の適用事業に雇用された場合適用」等、一般的説明をしました。これに対して組合側は、「労供労働者の3保適用に関わる厚労省の具体的な対応」を求めました。

昭和運輸不当解雇撤回の裁判闘争が大詰めを迎えている中、23区清掃事業労供労働者約3千人の3保適用について、厚生労働省の姿勢を求めた有意義な意見交換でした。(宮本)

自治退都本部学習会

自治体退職者会東京都本部の学習会が6月2日(3日)、箱根路開雲で開催され、庄司会長、戸張副会長、柳副会長が参加しました。テーマは、①自治労組織内「えさき」候補の応援、②「認知症とどう向き合うか」でした。

参院選比例区は自治労組織内「えさき」候補

岡田副会長の主催者挨拶「憲法改悪をめざしてやりたい放題の安倍内閣の暴走を止めるため、参議院選挙に勝利しよう」に続き、来賓の「えさきたかし」後援会から、「えさきは、自治労の代表として政策実現のため全力で走り続けて

いる。戦争法廃止、原発再稼働、労働法制改悪、社会保障切捨てに反対し、安倍政治を終らせるために頑張るえさきを再び参院に送り出してほしい。情勢は大変厳しい。先輩の皆様方の力をお借りしたい。」という訴えがありました。

認知症とどう向き合うか〜早期発見がポイント

学習会は「認知症とどう向き合うか」、講師は小松友恵さん(三多摩医療生協在宅療養支援部長)。昨年12月に清掃退職者会が行った学習会でおなじみの講師です。

認知症は早期発見が大事。①もの忘れがひどい、②判断、理解力が衰える、③時間、場所がわからない、④人柄が変わる、⑤不安感が強い、⑥意欲がなくなる、これらのいくつか思い当たれば、専門家に相談してみよう。早期診断は、周囲の人々の心の準備を進められるなどのメリットがある。

学習会のまとめ(1)認知症には、治るものもある。(2)早期発見・治療で進行を遅らせる。③家族だけでは介護は困難。介護サービスや友人等の協力を利用すべき。(4)認知症の人と、介護者に対する援助を地域全体で考えよう。



参院選勝利へ6.5大行動



右翼の妨害で騒然とした6.5全国総がかり大行動

6月5日、「明日を決めるのは私たち」6・5全国総がかり大行動」が、全国百力所以上で開催され、東京では国会周辺に約4万人が結集しました。音楽評論家湯川れい子さんが、「子や孫のことを考えれば、安倍政権のやることは私の感性と合わない。参院選挙は必ず勝ちましょう！」とアピールしたことは印象的でした。しかし、自治労等が結集した霞ヶ関では、右翼が街宣車で乗り込み、大音量で集会を妨害、警察はそれを黙認し続けました。集会では警察の反動的対応を強く抗議しました。

沖縄に連帯！6.19行動



沖縄県民大会と呼応するのちと平和のための6.19行動

元海兵隊・米軍属による女性暴行殺害事件に抗議し、海兵隊の撤退を求める6・19沖縄県民大会は、約6万5千人が結集しました。これに呼応する国会前集会には、約1万人が参加しました。沖縄県民大会での翁長県知事の挨拶が同時中継で流され、「地位協定の抜本的見直し、海兵隊の撤退・削減、基地の整理・縮小、辺野古新基地建設阻止に取り組む不退転の決意」を表明したことが感動的でした。沖縄に苦しみを押しつけるのはもう止めよう。そのためにも政治を変えましょう。



トヨタ東京本社抗議

「よってたかつて勝利まで」を合言葉に、首切りや不当行為に抗議する一日行動Ⅱ東京総行動が、6月17日に行われました。不当解雇、不当処分・不当労働行為、残業代未払い、セクハラ、薬害・公害被害補償拒否など、企業のブラック化は目を覆うばかりです。一日行動の最後は、日本を代表する巨大企業トヨタ抗議です。トヨタの海外生産事業体フィリピントヨタで300名余の首を切り、国際労働機関の是正勧告を無視し続けるブラック・トヨタの姿勢を批判、声を揃えて強く抗議しました。



6月11日、「米軍基地反対実行委員会」主催の米軍横田基地撤去とオスプレイ配備阻止へ向けた集会と抗議デモが行われました。辺野古新基地建設反対の闘いに連帯する行動です。退職者会は6名参加。集会で、横田基地周辺自治体議員の取組み報告などを受けた後、基地へ向けてデモ行進し、ゲート前で、米軍と航空自衛隊に対しオスプレイ配備反対などを申し入れた。デモの途中で、高校生くらいの若い人がデモに敵意を示す一幕もあり、基地を抱える地域の複雑さ、深刻さも垣間見えました。